

山形県の令和6年度森林環境譲与税の使途内訳

1. 山形県森林環境税基金歳入額

森林環境譲与税	87,346 千円
運用利子	52 千円

2. 森林環境譲与税の使途内訳

事業名	事業総額(千円)			当年度基金 への積立額 (千円)	事業内容
	(A)+(B)	(A)うち令和6 年度の森林 環境譲与税 額(千円)	(B)うち他の財 源 (千円)		
森林管理システム推進体制強化事業	14,058	14,058	-		森林経営管理法の適正な運用に関する情報収集や市町村への指導、助言等を行うとともに、山形県森林管理推進協議会を運営し、情報共有や林業経営者の研修会の開催、森林所有者等に対する普及啓発を行いました。
森林クラウド情報集積事業	8,334	8,334	-		森林クラウド等のICTを活用し、森林情報の高度化と共有を図り、市町村や森林所有者等による森林経営管理制度の効果的運用と森林経営計画の作成を促進しました。 また、森林クラウド等のシステムを利用する市町村等を対象とした操作支援を行いました。
会計年度職員人件費	21,964	20,290	1,674		森林経営管理法の適正な運用に関する指導助言や森林クラウドの運用をサポートする会計年度任用職員を配置しました。
再造林加速化対策事業	1,515	1,515	-		伐採及び造林事業者の連携強化や情報共有を行い、森林所有者に対する再造林への働きかけの強化や主伐・再造林の一体的かつ計画的な実行を促進したほか、再造林の取組みを加速させるための相談窓口の開設や会議の開催、研修会を行いました。
高性能林業機械トライアル支援事業	17,003	17,003	-		林業事業者の素材生産に必要な高性能林業機械のトライアル使用の経費を支援するとともに、事業体のオペレーター育成に必要な現地指導等を併せて行いました。
意欲的林業者技術向上支援事業	381	381	-		意欲的林業グループの活動支援及び青年林業士を養成するための研修会を実施しました。 「森林経営管制度」の運用や、森林管理を担う地域林政アドバイザーを育成しました。
意欲的林業者技術向上支援事業	1,651	1,651	-		普及研修の機能強化のため、試験実習林の衛生通信環境を整備しました。
県産木材普及促進事業	6,811	6,811	-		県産木材の需要を喚起するため、県産木材を一定数量以上使用して建築した民間施設に補助を行いました。 県産広葉樹材の利用拡大を進めるため、広葉樹製品のPRを行う団体に支援しました。
林工連携等産学官コラボレーション促進事業	461	461	-		林工連携(林業事業者及び木材産業事業者とその他の事業者との連携による新たな技術、製品又はサービスの開発)の推進のため、研修会(家具・内装用木材の国産材への転換、スマート林業)等を実施しました。
新たな森林資源活用推進事業	450	450	-		森林サービス産業を創出するため、各分野の専門家を構成員とした森林サービス産業検討会の開催及び森林空間を活用した新たなモデルツアー等への支援を行いました。
林道保全事業	7,996	7,996	-		令和6年4月に開学した東北農林専門職大学の実習フィールドとして利用される真室川県営林内の林道整備を実施しました。
緑の青年就業準備給付金事業	1,513	1,513	-		東北農林専門職大学森林業経営学科の学生のうち、県内の森林業分野への就業希望者に対して、支援金の給付を行いました。
原木付加価値向上事業	1,441	1,441	-		丸太時点での強度測定を行い、原木時点での強度と製材・乾燥後の相関性の調査を行いました。
農林水産デジタル化推進事業	1,214	1,214	-		スマート林業研修カリキュラムを作成しました。
東北専門職大学人材育成研修事業	513	513	-		地域連携型高校生林業理解促進研修及び製材所の見学、木材加工実習を実施しました。
スマート林業活用技術推進事業	318	318	-		ドローンやレーザー測量など先端技術の活用と普及を行うための人材の育成を行いました。
計	85,623	83,949	1,674	0	

※単位未満四捨五入のため、各数の計は一致しない

※山形県森林環境譲与税基金の状況 前年度からの繰越金63,042千円 + 当年度基金残3,397千円 + 利子52千円 = 次年度への繰越額66,491千円